

生え始めは注意必要



歯に歯垢^{しこう}が残りやすいため、大人ではなりにくい、かむ面のむし歯が発生しやすい時期といえます。

この時期のお口の管理は重要です。ポイントになるのが、「フッ化物」と「予防充填」です。

【問い】 6歳の息子に新しく奥歯が生えてきました。むし歯になりやすいと聞いたのですが、気を付けることがあれば教えてください。
(長崎市、34歳女性)

【答え】 これは「第一大臼歯」と呼ばれる永久歯で、6歳前後になると生えてきます。かむ力が最も強く、永久歯の歯並びの基本となる、とても重要な歯ですが、心配されているように、生え始めの時期はむし歯になりやすいといえます。特に、生えてから1〜2年は歯の質が弱く、上下の歯がかみ合っていないため注意が必要です。

歯の表面にあるエナメル質は酸などから歯を守っていますが、数年かけて唾液に含まれるミネラルなどを取り込み成熟します。それまでは酸に対する抵抗力が低く、むし歯になりやすいのです。また、第一大臼歯は、生え始めてから向かいの歯とかみ合うまでに数年かかります。その間は

フッ化物には、歯がミネラルを取り込む手助けをして歯質を強化する作用があり、むし歯予防に非常に効果的です。フッ化物入りの歯磨き剤、学校でのフッ化物洗口、歯科医院でのフッ化物塗布などの方法があります。予防充填は、歯科医院で歯の溝に歯科用セメントや樹脂を詰めて、むし歯を予防する方法です。歯ブラシの届かないような深い溝も埋めるため、非常に予防効果が高い方法です。

第一大臼歯は、最初が生えてくる永久歯の一つでありながら、お口の中で非常に重要な役割を担い続けます。生涯、機能し続ける歯を目指してください。

第一大臼歯は、最初が生えてくる永久歯の一つでありながら、お口の中で非常に重要な役割を担い続けます。生涯、機能し続ける歯を目指してください。

第一大臼歯のむし歯

回答者

松本 浩志^{まつもと ひろし}

長崎市扇町
扇町歯科医院 院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。